

EXHIBITION SCHEDULE

■ 休館日

月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日及び特別展開催期間中等を除く)
 年末年始(12月29日～1月3日)
 ※7月5日(火)、6日(水)は館内メンテナンスのため休館

2022年度 展覧会スケジュール

2022

- 4 春季特別展
2022年4.2(土) ▶ 5.22(日)
岩合光昭写真展 PANTANAL
パンタナール 清流がつむぐ動物たちの大草原
- 5 企画展
2022年6.2(木) ▶ 6.26(日)
明石の木造船
- 6 企画展
2022年7.16(土) ▶ 8.28(日)
あんびるやすこ作品展
- 7 夏季特別展
- 8 企画展
2022年9.10(土) ▶ 10.16(日)
明石藩の世界X
漁場の利用 水・耕地の利用
- 9 企画展
2022年10.29(土) ▶ 12.4(日)
発掘された明石の歴史展
明石の墓と祭祀
- 10 企画展
2022年12.17(土) ▶ 2023年1.15(日)
郷土作家シリーズ
二つの展示
- 11 企画展
2023年1.29(日) ▶ 3.21(火・祝)
くらしのうつりかわり展
- 12 企画展
- 2023
- 1 企画展
- 2 企画展
- 3 企画展

INFORMATION

■ 開館時間

9:30～18:30(入館は18:00まで)

■ 観覧料

大人200円／大学・高校生150円／中学生以下無料
 ※特別展開催時は料金が異なりますので、詳しくはお問い合わせください
 ※20名以上の団体で2割引、65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳提示の方(スマートフォンアプリによる提示も含む、介護が必要な場合は介護者も)は半額
 ※シニアいきいきパスポートの提示で無料

■ レストラン

海鮮フレンチ まるせいゆ(文化博物館敷地内)
 TEL:078-917-9797 定休日:月曜日(祝日の場合は火曜日に振替)
 ※詳しくはお問い合わせください

■ ギャラリー・大会議室利用

美術展・書道展・写真展などに利用できるギャラリー、講演会・研修会などに利用できる大会議室の貸館を行っています。
 ※料金や使用手続きについては、ホームページをご覧ください。

○ギャラリー ※ギャラリーは半室利用ができません

| 区分 | 展示延長 | 床面積 | 天井高 | パネル高 | |
|-------|------|------|------|-------|------|
| ギャラリー | 半室 | 71㎡ | 178㎡ | 3.05m | 2.6m |
| | 全室 | 142㎡ | 356㎡ | | |

○大会議室 収容定員 約100名

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員数を約半数の40～50名程度に削減しています。今後の状況によっては定員数が変更になる可能性があります。詳細はお問い合わせください。

お得な年間観覧券(ぶんぱくパスポート)を販売しています。

大人1,600円 / 大生1,200円 ※有効期間:発行日から1年間
 当館にて受付中

■ アクセス

電 車: JR神戸線、山陽電鉄「明石」駅下車。県立明石公園のお堀東側を北上、徒歩5分。

自動車: 第二神明大蔵谷出口より南西へ10分、第二神明伊川谷出口(東行きのみ)より南へ10分。

■ 駐車場

駐車台数:32台
 1台1時間につき100円
 (ただし、1時間未満の端数は1時間とします)
 ※駐車台数が限られるため、公共交通機関、又は近隣の有料駐車場(地図参照)をご利用ください。
 ※マイクロバス等でのご来館は、事前にお問い合わせください。



明石市立文化博物館

(指定管理者:小学館集英社プロダクション・鹿島建物共同事業体)

〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号
 TEL:078-918-5400 FAX:078-918-5409
<http://www.akashibunpaku.com/>



明石市立文化博物館

EXHIBITION

2022年度 展覧会スケジュール

SCHEDULE

2022.4-2023.3

展覧会スケジュール

当館は明石駅からほど近く、明石海峡を望む高台に位置しています。明石の歴史と文化を「自然環境と人々の暮らし」と題して8つのテーマで紹介する常設展示のほか、特別展や企画展などの展覧会を開催しています。

春季 特別展

岩合光昭写真展 **PANTANAL**
パンタナール 清流がつむぐ動物たちの大湿原
2022年4.2㊦ ▶ 5.22㊦ 会期中無休

世界最大級の熱帯湿地、パンタナール。大部分はブラジルに広がり、一部がボリビアとパラグアイにまたがります。そのスケールは日本の本州の広さに匹敵し、ブラジル側の大半が「パンタナール保全地域」として世界遺産に登録されています。そして雨季と乾季でドラマチックな変化を見せるこの世界でも希少な大湿原は、多彩な野生動物が息づく世界屈指の生命の宝庫です。

世界的に著名な動物写真家・岩合光昭が、ジャガー、カピバラ、パラグアイカイマンをはじめ、多種多様な生き物たちの生態に肉薄。2mを超える大サイズを含む、迫力ある約100点の作品により、清流がつむぐ生命の輝きをご覧ください。



© Mitsuki Iwago

企画展

明石の木造船
2022年6.2㊦ ▶ 6.26㊦ 月曜休館

海に面した明石では、古くから木造船をつかった漁や運搬が盛んでした。特に、明治時代に中部幾次郎によって改良された活魚運搬船は、「明石型生船」とよばれ、西日本に広く普及していました。展示では、こうした生船の関連資料をはじめ、遺跡から出土した古墳時代の丸木舟から昭和40年代まで作られていた漁船まで、その部材や模型、写真等を通して、明石における木造船の歴史を辿ります。



出買船模型

夏季 特別展

あんびるやすこ作品展
2022年7.16㊦ ▶ 8.28㊦ 会期中無休

ミリオンセラーの「なんでも魔女商会」「ルルとララ」「魔法の庭ものがたり」や「ムーンヒルズ魔法宝石店」を手がけるあんびるやすこ。女の子から絶大な人気を集める物語は「魔法」「ドレス」「お菓子作り」「ハーブ」「ジュエリー」など華やかなテーマで繰り広げられ、思いやりやがんばることの大切さが自然に語られます。

本展は、2020年春、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら会期短縮となった展覧会の再開催です。約100点の原画、制作の過程がうかがえるスケッチ、作家愛用の道具などに加え、新作の原画も展示します。



© Yasuko Ambiru

企画展

明石藩の世界X
漁場の利用 水・耕地の利用
2022年9.10㊦ ▶ 10.16㊦
月曜休館 9月19日、10月10日は開館

江戸時代の古文書には、耕地や水、漁場の利用の記録が含まれています。本展では、明石藩領やその周辺地域の古文書から、明石沖の好漁場「鹿ノ瀬」をめぐる漁場争論、ため池の築造や水争いといった耕地や水の利用をめぐる人々のいとなみ、「耕作放棄地」に対する村々や領主の対応などをとりあげ、環境変化への対応や限りある資源の利用を模索する人々のすがたを紹介します。



鹿之瀬論争絵図(個人蔵)

企画展

発掘された明石の歴史展
明石の墓と祭祀
2022年10.29㊦ ▶ 12.4㊦ 月曜休館

市内及び周辺の遺跡からの出土品を、時代やテーマを変えて毎年紹介しているシリーズです。今年は、「明石の墓と祭祀」をテーマに、弥生時代から江戸時代までの人を埋葬した墓をとりあげます。古墳時代の幣塚古墳から出土した埴輪をはじめ、江戸時代の明石藩士の墓から出土した副葬品などを展示し、墓を通して、当時の社会・文化の一端をご紹介します。



幣塚古墳埴輪

企画展

郷土作家シリーズ 二つの展示
2022年12.17㊦ ▶ 2023年1.15㊦
月曜休館 1月9日は開館
12月29日～1月3日は年末年始休館

2022年というが揃った年にちなんで、「二つの〇〇」をテーマに収蔵作品を紹介。明石ゆかりの作家の作品を中心に、明石藩士の家に伝わった美術品など明石の地にまつわる収蔵作品の中から、二つのモチーフが描き込まれた絵画、2点あわせて1組の作品となる焼き物など、「二つ」の関係性を考えさせるような作品を集めました。作品の美しさとともに、作品に込められた意味や思いを「二つの〇〇」という視点からもお楽しみください。



寺島紫明 二人の舞妓

企画展

くらしのうつりかわり展
2023年1.29㊦ ▶ 3.21㊦ 火曜 月曜休館

今では大きく様変わりした昭和時代のくらしの様子を、当時の道具や写真などで振り返ります。当時を知る世代にはなつかしい、知らない世代はわくわくする、昭和レトロを学べる展覧会です。

※本展覧会は小学校の社会科・総合学習の参考展として、毎年多くの学校観覧で来館いただいています。見学申込みは9月頃に開始予定です。詳しくはお問い合わせください。



昭和35年給食再現レプリカ

常設展示室・体験学習室

明石の歴史と文化を「自然環境と人々の暮らし」と題して、「明石のあけぼの」「大昔の明石」「畿内への入り口・明石」「明石の焼き物」「明石の農業」「明石の漁業」「明石城と城下町」「のびゆく明石」の8つのテーマで紹介しています。また、体験学習室では、昭和の生活を学ぶことができます。